

∞ 無限大 ∞

西東京市立上向台小学校
第6学年 学年便り
2月号
令和5年1月31日

2月は、6年生が企画してきたフレンドタイムや1年間まとめてきた委員会活動などが、最終回を迎えます。1年間の積み重ねを振り返るとともに、5年生にどのように最高学年を引き継いでいくかを考える時間を設けていきます。3月の6年生を送る会や卒業式に繋がるよう指導していきます。

また、1月下旬には全クラスでインターネットの便利さとその責任について道徳の授業を行いました。スマートフォンを持っているにも関わらず、SNSについての危険を初めて知ったという子もいて、あまりに無防備に使っていることに危機感を覚えました。そこで、授業内容を裏面にも記載しますので、御家庭で約束等について話してみてはいかがでしょうか。中学生でのトラブルの未然防止になれば、幸いです。

《2月行事予定》

月	火	水	木	金	土
		1 ふれあい 月間始⑤	2 安全指導 ⑥	3 ⑤	4 道徳授業地区公開講座 学習発表会ビデオ公開 ③ 書き初め展終③
時差登校 B前半、A後半					
6 委員会 ⑥	7 ⑥	8 集会 ⑤	9 4時間授業 ④	10 ふれあい 月間終B⑥	11 建国記念の日
時差登校 A前半、B後半					
13 クラブ活動 タオル締切日⑥	14 調理実習(1,2組) ⑥	15 ⑤	16 調理実習(3,4組) 補習日 B⑥	17 ⑥	18
時差登校 B前半、A後半					
20 フレンドタイム ⑥	21 5時間授業 ⑤	22 栽培委員会 発表集会⑤	23 天皇誕生日	24 ⑥	25
時差登校 A前半、B後半					
27 委員会活動 ⑥	28 読み聞かせ B⑥				4
時差登校 B前半、A後半					

※予告なしの避難訓練があります。



1月 学習予定



教科	内 容
国語	メディアと人間社会 漢字を正しく使えるように 人を引きつける表現 思い出を言葉に(卒業文集) 今、私は、ぼくは
社会	新しい日本、平和な日本へ 世界の中の日本
算数	算数のしあげ
理科	私たちの生活と電気 てこのはたらき
音楽	音楽で思いを伝えよう
図工	わたしはデザイナー
家庭科	まかせてね今日の食事
体育	跳び箱 サッカー 保健
総合	コレカラ～卒業に向けてできることを考えよう～
道徳	感謝 真実の探究 善悪の判断 自律、自由と責任 希望と勇気、努力と強い意志
外国語	I have a dream. 将来の夢をしようかいしよう。 Junior High School Life 中学校でしたいことを発表しよう。

《お知らせとお願い》

道徳授業地区公開講座について

2月4日(土)の道徳授業地区公開講座では、以下の内容で授業を行います。

主題：感謝

学習内容：自分の中にある感謝の気持ちについて考え、多くの人への支えや助け合いで成り立っている日々の生活に感謝し、自分のすべきことをすすんでしていこうとする実践意欲と態度を育てる。

調理実習について

家庭科「まかせてね、今日の食事」では、栄養バランスを考えて1食分の献立を決め、調理することができるように学んでいます。以下の日程で調理実習を予定しています。

日時 2月14日(1組、2組)

2月16日(3組、4組)

持ち物…エプロン、三角巾、

ふきん、ハンカチ、マスク

卒業制作

卒業制作として、きれいな上小を保つことができるよう雑巾を作成します。使わなくなったタオルを1枚13日(月)までに持たせてください。(色や柄があっても構いません。)

卒業文集について

卒業文集の清書に向けて、各自書きやすいボールペン(黒)を1本ご用意ください。

持ち物について

学習に関係のない物を持ってこないよう指導しています。チョコレートやシャープペンシル等を持たせないよう御家庭でもお声掛けください。

道徳「インターネットを利用する時の責任について考えよう」

【インターネット上でどんな問題が起きているか】

☆誹謗中傷

☆なりすましやグループ外しなどいじめにつながったり、いじめを助長したりすること

☆個人情報の流出など



これらは、全て人権侵害にあたる

【インターネット上でのやりとりの特徴】

☆相手の表情が見えにくく、誤解が生まれやすいこと

（「まじめ」と言われて嬉しい人や嬉しくない人、嬉しい場面や不快な場面もある。ほめ言葉として善意で伝えても、相手が傷つく場合がある。）

☆誰かがスクリーンショット等で保存し、やりとりが完全に消えにくいこと

【フェイクニュースや炎上を例に指導したこと】

☆事実でないことを言いふらしたり、拡散したりすることは不適切であること

☆自分が得た情報が合っているのか分からないまま広めてはならないこと

☆事実であったとしても、それを知った多くの他人が当事者を誹謗中傷する必要はなく、それは不適切であること

【授業を終えて】

☆現代では、小学校でタブレットが配布され、小学生も分からないことは検索することが当たり前、小中学生でスマートフォンをもつことも多いです。その環境は、大人が子どもだったころとは違うので、

「スマホを触る時間が平日2時間をこえるけど、今の子どもにとっては当たり前なのかな。でもさすがに多くて…」

「プライバシーもあるし、子どものスマホを見ることはやめておこう。でも、ずっとスマホを見ていてどんなやりとりをしているのか気になる…」

と、保護者の皆様は迷ったことはないでしょうか。

☆けがをする可能性のある物の使い方を教えず自由に使わせないように、様々なリスクがあるスマートフォン等を使い方や危険を教えずに使うことは危険です。これからもうまく活用していく必要のある世代だからこそ、野放しに渡すのではなく、また強制的なルールで縛るのではなく、使い方について向き合うことが大切だと考えています。